

平成28年度

平和の絵

- ・森田 航成 (きたのくにこども園年中)
- ・森田 桃代 (緑丘小学校3年)
- ・佐々木 絢可 (北海道帯広聾学校小学部3年)
- ・細野 玲那 (帯広第七中学校2年)
- ・宮浦 晨 (帯広第七中学校2年)
- ・羽賀 尚生 (帯広第七中学校2年)

平和の詩

- ・堺 栄りの (稲田小学校1年)
- ・平岡 怜大 (明和小学校1年)
- ・芦川 さくら (つつじが丘小学校2年)
- ・高野 玉 (柏小学校6年)
- ・山本 美麗 (帯広第四中学校3年)
- ・西上 ことね (帯広第四中学校3年)

2017年 平和カレンダー

1月: きたのくにこども園 年中 森田 航成
2月: 緑丘小学校 3年 森田 桃代
3月: 北海道帯広聾学校 小学部 3年 佐々木 絢可
4月: 帯広第七中学校 2年 細野 玲那
5月: 帯広第七中学校 2年 宮浦 晨
6月: 帯広第七中学校 2年 羽賀 尚生

7月: 稲田小学校 1年 堺 栄りの
8月: 明和小学校 1年 平岡 怜大
9月: つつじが丘小学校 2年 芦川 さくら
10月: 柏小学校 6年 高野 玉
11月: 帯広第四中学校 3年 山本 美麗
12月: 帯広第四中学校 3年 西上 ことね

核兵器廃絶平和都市宣言推進実行委員会

2018年 平和カレンダー

1月: 森の子保育園 年中 小泉 冬馬
2月: 帯広東幼稚園 年中 平 悠人
3月: 第一いずみ幼稚園 年長 小倉 凜桜
4月: 西小学校 5年 前橋 ひな
5月: 花園小学校 5年 加藤 舞咲
6月: 帯広第七中学校 2年 桃井 文乃

7月: 明星小学校 2年 上迫 夕姫
8月: 森の里小学校 3年 納 実月
9月: つつじが丘小学校 5年 大和 美月
10月: 東小学校 5年 長澤 志優
11月: 柏小学校 6年 河合 雪葉
12月: 光南小学校 6年 望月 大智

核兵器廃絶平和都市宣言推進実行委員会

平成29年度

平和の絵

- ・小泉 冬馬 (森の子保育園年中)
- ・平 悠人 (帯広東幼稚園年中)
- ・小倉 凜桜 (第一いずみ幼稚園年長)
- ・前橋 ひな (西小学校5年)
- ・加藤 舞咲 (花園小学校5年)
- ・桃井 文乃 (帯広第七中学校2年)

平和の詩

- ・上迫 夕姫 (明星小学校2年)
- ・納 実月 (森の里小学校3年)
- ・大和 美月 (つつじが丘小学校5年)
- ・長澤 志優 (東小学校5年)
- ・河合 雪葉 (柏小学校6年)
- ・望月 大智 (光南小学校6年)

平成30年度

平和の絵

- ・多門 花佳 (聖公会幼稚園年中)
- ・波戸内美月 (森の子保育園年中)
- ・福山 咲 (森の子保育園年長)
- ・森本 颯稀 (柏小学校5年)
- ・加藤 舞咲 (花園小学校6年)
- ・柴田 寛大 (北海道帯広養護学校中学部3年)

平和の詩

- ・納 七海 (森の里小学校2年)
- ・納 実月 (森の里小学校4年)
- ・大和 美月 (つつじが丘小学校6年)
- ・佐藤 羽瑠 (西陵中学校1年)
- ・中村 亜月 (帯広第四中学校2年)
- ・桑原 萌 (帯広第四中学校3年)

2019年 平和カレンダー

1月: 森の子保育園年中 多門 花佳
2月: 聖公会幼稚園年中 多門 花佳
3月: 森の子保育園年長 福山 咲
4月: 森の子保育園年長 福山 咲
5月: 森の子保育園年長 福山 咲
6月: 森の子保育園年長 福山 咲
7月: 森の子保育園年長 福山 咲
8月: 森の子保育園年長 福山 咲
9月: 森の子保育園年長 福山 咲
10月: 森の子保育園年長 福山 咲
11月: 森の子保育園年長 福山 咲
12月: 森の子保育園年長 福山 咲

応募者名 (応募者名簿):

氏名	年齢	性別	住所
多門 花佳	5	女	帯広市南10条1丁目
波戸内 美月	5	女	帯広市南10条1丁目
福山 咲	6	女	帯広市南10条1丁目
森本 颯稀	10	女	帯広市南10条1丁目
加藤 舞咲	11	女	帯広市南10条1丁目
柴田 寛大	12	男	帯広市南10条1丁目

核兵器廃絶平和都市宣言推進実行委員会

2020年 平和カレンダー

1月: 森の里小学校2年 納 七海
2月: 森の里小学校4年 納 実月
3月: つつじが丘小学校6年 大和 美月
4月: 西陵中学校1年 佐藤 羽瑠
5月: 帯広第四中学校2年 中村 亜月
6月: 帯広第四中学校3年 桑原 萌

応募者名 (応募者名簿):

氏名	年齢	性別	住所
納 七海	7	女	帯広市南10条1丁目
納 実月	9	女	帯広市南10条1丁目
大和 美月	12	女	帯広市南10条1丁目
佐藤 羽瑠	13	女	帯広市南10条1丁目
中村 亜月	14	女	帯広市南10条1丁目
桑原 萌	15	女	帯広市南10条1丁目

核兵器廃絶平和都市宣言推進実行委員会

令和元年度

平和の絵

- ・森田 桜色 (きたのくにこども園年中)
- ・萬寿 歩実 (柏林台カトリック幼稚園年中)
- ・小林 朱莉 (緑丘小学校2年)
- ・真貝 一世 (豊成小学校3年)
- ・川村 凜花 (帯広第五中学校2年)
- ・青木 蓮 (北海道帯広養護学校中学部3年)

平和の詩

- ・川南 采久 (花園小学校2年)
- ・川南 文平 (花園小学校3年)
- ・納 実月 (森の里小学校5年)
- ・大和紗耶加 (北栄小学校6年)
- ・富樫 昭文 (帯広第八中学校2年)
- ・三井菜々華 (帯広第四中学校3年)

令和2年度

平和の絵

- ・戸田菜々華 (森の子保育園年少)
- ・又木 里彩 (柏林台カトリック幼稚園年中)
- ・村山夕樹乃 (柏小学校2年)
- ・小林 朱莉 (緑丘小学校3年)
- ・佐藤 琴梨 (稲田小学校5年)
- ・加藤 舞咲 (帯広第四中学校2年)

平和の詩

- ・納 七海 (森の里小学校4年)
- ・宇佐美健翔 (森の里小学校6年)
- ・澤谷 美咲 (帯広第四中学校1年)
- ・中村 寧保 (帯広第四中学校1年)
- ・藤井聡一郎 (帯広第四中学校1年)
- ・池原 透真 (帯広第四中学校2年)

2021年 平和カレンダー

1月: 森の子保育園年少 (戸田菜々華)

2月: 柏林台カトリック幼稚園年中 (又木里彩)

3月: 柏小学校2年 (村山夕樹乃)

4月: 緑丘小学校3年 (小林朱莉)

5月: 稲田小学校5年 (佐藤琴梨)

6月: 帯広第四中学校2年 (加藤舞咲)

7月: 森の里小学校4年 (納七海)

8月: 森の里小学校6年 (宇佐美健翔)

9月: 帯広第四中学校1年 (澤谷美咲)

10月: 帯広第四中学校1年 (中村寧保)

11月: 帯広第四中学校1年 (藤井聡一郎)

12月: 帯広第四中学校2年 (池原透真)

核兵器廃絶平和都市宣言推進実行委員会

2022年 平和カレンダー

1月: 森の子保育園年少 (戸田菜々華)

2月: 柏林台カトリック幼稚園年中 (又木里彩)

3月: 柏小学校2年 (村山夕樹乃)

4月: 緑丘小学校3年 (小林朱莉)

5月: 稲田小学校5年 (佐藤琴梨)

6月: 帯広第四中学校2年 (加藤舞咲)

7月: 森の里小学校4年 (納七海)

8月: 森の里小学校6年 (宇佐美健翔)

9月: 帯広第四中学校1年 (澤谷美咲)

10月: 帯広第四中学校1年 (中村寧保)

11月: 帯広第四中学校1年 (藤井聡一郎)

12月: 帯広第四中学校2年 (池原透真)

核兵器廃絶平和都市宣言推進実行委員会

令和3年度

平和の絵

- ・大西 侖 (柏林台カトリック幼稚園年少)
- ・佐藤 春斗 (森の子保育園年中)
- ・又木 里彩 (柏林台カトリック幼稚園年長)
- ・トゥグスバトル アヌウ (森の子保育園年長)
- ・小林 朱莉 (緑丘小学校4年)
- ・加藤 舞咲 (帯広第四中学校3年)

平和の詩

- ・納 七海 (森の里小学校5年)
- ・高山 太一 (帯広第四中学校3年)
- ・池原 透真 (帯広第四中学校3年)
- ・細野 雄太 (帯広第四中学校3年)
- ・山口 香凜 (帯広第四中学校3年)
- ・大沼 千莉 (帯広第四中学校3年)

3. 核兵器廃絶平和都市宣言30周年記念事業

①パネル展の開催

令和3年8月12日から8月17日にかけて、とまちプラザ1階アトリウムにおいて、原爆、帯広空襲等の戦争に関するパネル展を開催しました。

また、併設して、広島・長崎に届ける折り鶴コーナー、平和に係る署名コーナーを設置しました。



②帯広空襲体験談DVDの制作

1945年(昭和20年)7月14日・15日にあった帯広空襲の概要説明に加え、実際に体験された小室和子さん、吉澤澄子さんが帯広空襲被害の辛い体験、後世に伝えたい思いを語っていただきました。

【核兵器廃絶平和都市宣言推進実行委員会 桜谷委員より】

「日本が戦争に加担しないよう、戦争はだめだと私たちが叫ばないといけない」「私たちが戦争の実態を教え、絶対に戦争をしてはいけないと伝えたい」という共通の思いに感銘を受けました。歴史に学び、歴史と向き合い、「政府の行為によってふたたび戦争の惨禍が起こることがないように決意する」ことが今を生きる私たちの責任です。

③帯広市核兵器廃絶平和都市宣言30周年記念式典

令和3年8月15日、とかちプラザ2階レインボーホールにおいて、核兵器廃絶平和都市を宣言してから現在までの歩みを振り返るとともに、平和への思いを新たにする目的から、記念式典を開催しました。

帯広市市民活動課長による開会宣言の後、はじめに、先の大戦において、祖国の平和と繁栄を祈りながら尊い犠牲となられた方々のご冥福をお祈りし、黙とうを行いました。

黙とうの後、帯広市核兵器廃絶平和都市宣言推進実行委員会が登壇し、金倉久美子副委員長を代表として、全員で宣言文を朗唱しました。



次に、主催者である帯広市の米沢則寿市長、帯広市核兵器廃絶平和都市宣言推進実行委員会の岸本正委員長、ご来賓の有城正憲帯広市議会議長より挨拶がありました。



続いて、広島市および長崎市よりいただいたメッセージの紹介を行いました。

「帯広市核兵器廃絶平和都市宣言30周年記念式典」が開催されるに当たり、メッセージをお送りいたします。

1945年8月6日、広島は一発の原子爆弾により数多くの尊い命が奪われ、街は破壊し尽くされました。原爆の惨禍を経験した広島は、「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という被爆者の切なる願いのもとに、核兵器のない世界恒久平和の実現を訴え続けています。

しかし、核兵器を巡る情勢を見ますと、いまだ1万3,000発を超える核兵器が存在し、核保有国は、1970年に発効したNPT(核兵器不拡散条約)第6条に定められている核軍縮の誠実交渉義務を果たすどころか、核戦力の増強や近代化を進めています。

また、被爆者を始め、ヒロシマの心を共有する多くの市民が待ち望んだ、核兵器禁止条約が2021年1月に発効しましたが、核保有国や核の傘下にある国は署名・批准をしておらず、この条約をより実効性の高いものにしていくことが課題となっています。

世界の為政者が、これらの枠組みを有効に機能させるための決意を固めるためにも、市民社会の平和意識を醸成することにより、平和への大きな潮流をつくり、核兵器廃絶の国際世論を形成し、各国の為政者の政策転換を促すことがますます必要になっています。

そうした意味から、皆様は「核兵器廃絶平和都市宣言都市」として、核兵器廃絶を訴え、平和の取組を推進されることは誠に意義深く、その取組に対し深甚なる敬意を表します。

本市も、帯広市を始め、世界の165か国・地域の8,000を超える都市で構成する平和首長会議の加盟都市とともに、核兵器廃絶に向けた為政者の行動を後押しする環境づくりに全力で取り組んでいく所存です。

終わりに、「帯広市核兵器廃絶平和都市宣言30周年記念式典」の御成功と皆様の今後ますますの御健勝と御多幸を心よりお祈りいたします。

令和3年8月15日 広島市長 松井 一實

このたび、帯広市核兵器廃絶平和都市宣言30周年記念式典が開催されるにあたり、長崎市民を代表してご挨拶を申し上げます。

貴市におかれましては、平成3年に「核兵器廃絶平和都市」を宣言されて以来、様々な非核・平和推進事業を進めておられることに深く敬意を表します。

1945年8月9日午前11時2分、長崎の街は一発の原子爆弾により、一瞬にして壊滅的な被害を受けました。7万4千人の尊い命が奪われ、7万5千人が負傷しました。かろうじて生き残った人々も、心と身体に癒すことのできない深い傷を負い、今もなお、放射線による後障害に苦しんでいます。

核兵器の脅威を、身をもって知る被爆者は、「自分と同じ思いを世界中の誰にも二度とさせてはならない」と、思い出すのも辛い、自らの痛ましい体験を伝え、核兵器廃絶を訴え続けてきました。そして、被爆者のこうした訴えが実を結び、被爆から76年目を迎えた今年1月に「核兵器禁止条約」が発効し、核兵器のない世界の実現に向けた新たなスタートを切りました。

しかし、条約が発効してもなお、地球上には1万3千発を超える核兵器が存在しており、核兵器を巡る国際情勢は予断を許さない状況が続いています。

生まれたばかりのこの条約を世界の共通ルールに育て、核兵器廃絶を実現するためには、私たち市民社会が連帯し、これまで以上に粘り強く声をあげていく必要があります。そして、その礎となるのは、このような機会を通じて、多くの方々が戦争をなくし、核兵器廃絶への思いを共有することだと思います。一つひとつのかけがえのない行動がたくさん集まって、大きな流れをつくり、平和へとつながっていきます。

「帯広市核兵器廃絶平和都市宣言30周年記念式典」を通して、皆様の心に平和の種が蒔かれ、それが大きく育ち、「平和の文化」が世界中に広がることを祈念します。

最後に、皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。

令和3年8月15日 長崎市長 田上 富久

次に、次世代からのメッセージとして、「平和の詩」の朗読が行われました。
今回は、令和2年度「平和の詩」優秀作品の作者である小中学生6名に朗読いただきました。



式典の締めくくりとして、帯広南商業高等学校吹奏楽部による演奏が行われました。



④ 語り部の会

記念式典の後は、引き続き、語り部の会を開催しました。

今回は、帯広市拓成町に在住で、昭和20年、当時7歳の時に満洲からの引き揚げを体験された、伊澤満洲男様よりお話をいただきました。



戦争と核をめぐる10年

- 2012年 アメリカが4月から6月にかけて核実験を実施（8月、10月から12月も同様）
4月13日 北朝鮮が「人工衛星」と称するミサイルを発射（12月12日も同様）
12月5日 アメリカが臨界前核実験を実施
- 2013年 アメリカが4月から6月にかけて核実験を実施（7月から9月も同様）
- 2014年 イスラエルのガザ侵攻
 リビア内戦
3月3日 北朝鮮が弾道ミサイルを発射
9月 アメリカが4月から6月にかけて核実験を実施（10月も同様）
- 2015年 イエメン内戦
11月13日 バリ同時多発テロ発生
- 2016年 1月6日 北朝鮮が核実験を実施
 2月7日 北朝鮮が「人工衛星」と称するミサイルを発射
 5月27日 アメリカのオバマ大統領が現職のアメリカの大統領として初めて広島を訪問
- 2017年 7月7日 核兵器禁止条約（TPNW）成立
 8月29日 北朝鮮が日本海側に弾道ミサイルを発射（9月15日、11月29日も同様）

12月10日 核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）がノーベル平和賞を受賞
12月13日 アメリカが臨界前核実験を実施
- 2019年 北朝鮮が5月から11月にかけて計13回、日本海に向けて弾道ミサイルを発射
2月13日 アメリカが臨界前核実験を実施
8月2日 中距離核戦力（INF）全廃条約失効
11月24日 ローマ教皇フランシスコ台下が広島・長崎を訪問
- 2020年 3月 北朝鮮が4回にわたり、日本海に向けて弾道ミサイルを発射
10月24日 核兵器禁止条約批准国50か国到達
11月 アメリカが臨界前核実験を実施
- 2021年 ロシア・ウクライナ危機
1月22日 核兵器禁止条約発効
3月25日 北朝鮮が日本海側に弾道ミサイルを発射（9月15日・28日、10月19日も同様）
- 2022年 北朝鮮が1月から2月にかけて計7回、日本海に向けて弾道ミサイルを発射
2月24日 ロシアがウクライナへ侵攻を開始

帯広市核兵器廃絶平和都市宣言推進実行委員会（順不同・敬称略）

役職	氏名	出身団体等
委員長	岸本 正	帯広畜産大学 教授
副委員長	金倉 久美子	核兵器廃絶・被爆者援護十勝ネットワーク
監事	米澤 昭彦	帯広平和運動フォーラム
監事	齊藤 雅俊	帯広市町内会連合会
委員	佐野 友紀	帯広市 PTA 連合会
委員	久保下 正哲	原水爆禁止帯広市民会議
委員	桜谷 和博	原水爆禁止帯広協議会
委員	青柳 雅哉	帯広空襲を語る会
委員	竹腰 三男	平和を守り、思想・良心の自由をかちとる市民の会
委員	武田 光史	帯広商工会議所
委員	天内 道子	帯広市青少年育成者連絡協議会
委員	小貫 耕喜	憲法を暮らしの中に生かす十勝ネットワーク
委員	土谷 節子	被爆二世プラスの会
事務局	帯広市 市民福祉部 地域福祉室 市民活動課	

表紙のロゴについて（いずれも平成5年10月14日作成）

【おもて】平和のシンボルマーク

作成者 奥野 淳一さん
 （帯広第四中学校教諭 当時 44 歳）

平和（PEACE）の頭文字 P をフォルムのベースにし、
 平和のシンボル鳩を配したほか、筆跡に勢いに加え、
 力強く核兵器廃絶平和を宣言する都市であることを表現。
 十勝大平原と山並み、そして青空を表現するため 2 色使用。

【うら】ピースくん

作成者 野原 圭介さん
 （帯広若葉小学校教諭 当時 23 歳）

身体は、ピースと、
 P E A C E（平和）の P、そして、
 地球を包む優しい心をイメージした。

◇編集を終えて

「核兵器廃絶平和都市」の宣言から 30 年の節目に、多くの皆様のご協力のもと、こうして記念誌を発刊することができましたことに深くお礼を申し上げます。

寄稿文を書き上げていただいた方々におかれましては、当時の辛い経験を思い起こすこととなり、たいへん申し訳ない限りではありますが、皆様のお話が、これからの世代にしっかりと引き継がれ、将来の平和な暮らしに繋がっていくことを願ってやみません。

本誌が、帯広市の皆様にとって平和の大切さを改めて理解するきっかけとなれば幸いです。

核兵器廃絶平和都市宣言推進実行委員会
 帯広市 市民福祉部 地域福祉室 市民活動課



平和キャラクター
愛称「ピアースくん」

核兵器廃絶平和都市宣言 30 周年記念誌 語り継ぐ平和への願い

- 発行日 令和4年3月23日
- 編集 核兵器廃絶平和都市宣言推進実行委員会
帯広市 市民福祉部 地域福祉室 市民活動課
- 印刷 勇昇印刷有限公司